



YOUNG
ENTREPRENEURS
GROUP

遊 悠 心

NO. 12

題字 松山商工会議所 会頭 梶田 三郎氏

ゆうゆう



第15回商工会議所青年部愛媛地区会員大会

「愛媛YEG、全員集結」

松山でみせよう愛媛の団結力！」

愛媛の未来を自ら描こう。YEGが「連携」を考える。

●とき 平成8年6月22日(土)・23日(日)

●ところ 松山市総合コミュニティセンター

第15回商工会議所

青年部愛媛地区会員大会

I. 県会員大会実施計画(案) 3月23日現在

〈大会コンセプト〉

当青年部は、設立より6年を経て組織作り、会員交流、地域活動、県連交流、商青連交流等々の活動を行ってきた。

そして、今回愛媛県会員大会を受けることとなった。

このような経緯、経過を考えると忘れてならないのは、我々松山商工会議所青年部が県都、松山の青年部であるということである。

県内青年部としては、歴史も浅く若輩ではあるが、いったん県会員大会を受けたからには、県都松山の名に恥じない県会員大会を実施しなければならぬ。

そして、実施するからには集結・交流・連携へとつながる参加意義のある、より盛んな会員大会となるよう、前泊懇親会や従来にないエクスカージョン、会長・事務局研修の実施、また他青年部に積極的に参加動議を行うなど、大会の成功をめざし取り組んでいく。

〈大会スローガン〉

「愛媛YEG、会員集結、
松山でみせよう愛媛の団結力」

II. 大会各事業の実施コンセプト

①(エクスカージョン)

従来のゴルフと観光といった枠を離れ、「集結・健康・連帯」を目的にスパーキックベースボールを実施する。

なお、ゲーム内容、ルール等は担当部会が実施する。

②(懇親会、二次会)

興味の持てる従来の枠を超えた交流のできる懇親会を開催する。

また、二次会会場は、松山の夜を安心して楽しみ、かつより深い交流を目指せるものとし、松山ナイトマップの作成、大会安心価格の設定などといった松山ならではの情報を提供する。

③(会長、事務局研修)

県内青年部事務局の連携を目的とし、各県会青年部が新しい時代に向かっている今、担当事務局員もまた、連携について理解してもらう必要がある。

各単会が活動していくうえで、いかにすればスムーズな運営が出来るのか、会長、事務局が共に考える。ゲスト

日本商工会議所 土橋 課長
商青連専務理事 河井 達志

商青連西地区副会長 竹内 豊
④(分科会)
分科会をより重視し、「連携」をメインテーマに実施する。平成8年度県連方針とリンクさせ、連携の在り方、必要性を理解し、継続性のある内容を取り入れ、県下YEGの連携へとつながるキックバックづくりをする。各分科会での内容は、報告書として取りまとめ、後日各単会へ配布する。

※参考資料別添
⑤(記念式典)
式典は従来の進行を踏襲する、但し記念講演会を行わず、分科会報告を充実させ、実のある分科会を全員で共有できる報告を実施する。
なお、実施具体案は担当部会及び実行委員会で決定する。

愛媛の未来を自ら描こう。 YEGが「連携」を考える。

第一分科会 (Level 1)

テ - マ	①地域の活性化を考える
サブタイトル	おらが町の商店街
目 的	「競争」の時代から「連携」の時代へ 個店同志の連携、商店街同志の連携、地域同志の連携

テ - マ	②地域の活性化を考える
サブタイトル	観光資源を創造しよう
目 的	尾道＝今治西瀬戸自動車道の開通に向けて新しい観光ルートを開発

第二分科会 (Level 2)

テ - マ	国際化を考える
サブタイトル	「FAZ」ってなんじゃろ?一緒にのぞきにいかんげ。
目 的	FAZ諸施設の見学、その目的を認識 同時に日本の中での愛媛の位置を確認する。

第三分科会 (Level 3)

テ - マ	情報化を考える
サブタイトル	インターネットは中小企業の救世主!?
目 的	インターネットの体験、事業への取り組み

総会報告

平成7年12月15日、東京第一ホテル松山にて、青年部臨時会員総会が40名の参加で行われた。その内容は以下のとおりである。

まず次年度より、青年部の委員会体制が、これまでの4委員会（総務・研修・事業・広報）から5委員会（総務・会員・交流・渉外・PR）となり、その報告のあと、次年度会長、副会長及び、県連出向理事の選任を行い、また役員の同意を得て、次年度正副委員長を決定した。

次に、次年度には、当青年部に県連事務局を置き、野村県連出向理事が、県連会長を務め、また6月は青年部会員大会を主管し実施するため同会員大会への取り組みは、次年度の新委員会体制で行うことになった。そのあと、次年度委員会の編成を行う、一連のタイムスケジュールについて説明を行い協力をお願いした。



12月例会報告

青年部臨時会員総会のあと、引き続き、12月例会が開催され、「松山における情報化の現状と今後の展望」をテーマにパネルディスカッションが行われた。講師に柳いよぎん地域経済研究センターの黒田明良氏を迎え、パネラーとしては社内LANの構築などOA化の先進企業として、株式会社富田耕治氏、佐川印刷株式会社、佐川純氏、全国商青連としての立場から、商青連 野村忠孝氏、現在取り組み中である、松山商工会議所西園倫弘氏の四者であった。

内容は、個人とパソコンのかわり、企業としての取り組み方、地域連携としてのとらえ方、インターネットの利用方法等であったが、発表がビジュアルな形で行われたので、わかりやすく、多岐にわたった内容であった。パネラーはパソコンの急速な普及は、マスコミが日本人の危機感をあおっている面もあるので慎重な対応が求められると強調した。



家族交流会だあー！

10月22日(日)恒例の家族交流会が、またまた恒例の五明レインボウハイランドで、またまた恒例のパーベキューの食事会を含んで盛大に(?)開催されました。

今回の目玉はスーパーキックベースボール史上始まって以来の屋内大会で、委員会対抗ということもあって非常に盛り上がりました。あの蹴ったあとの足の痛さや、ライナーが飛んできたときの恐怖心もなく、女性も、子供も楽しくプレイすることができ、たいへん面白かったです。主催委員会がこんな感想でいいのかなとも思いますが、パーベキューの炭のおこしかたや、焼き方等みなさん手慣れたものでたいへん心強かったです。

最後に今回あまり手の込んだ家族交

流会が開けなかったことへのお詫びと、ご協力頂きました総務委員の皆様並びに関係者の方々にお礼を添えて終わります。



委員会だより

総務委員会

委員長 坂野俊一郎

1年間を振り返ってみると、総務委員会では、6月に会員名簿の発刊、10月には家族交流会の実施、12月には、会員忘年会の開催、そして8月には、松山まつりへの参加と2ヶ月ごとに大きな行事がありました。

4月の名簿を発刊したいと思いながら6月になってしまいました。8月の松山まつりのゲームでは前々からやりたかった「パイ投げゲーム」を行い、汚い！臭い！とか罵りをあびながらも結構楽しかったことを思い出します。また、10月には雨の心配もあるので何がいいかと考えたあげくの室内でのスーパードキッパースポール大会とバーベキューを行った家族交流会。どんなゲーム展開になるやら予想もできなかったけれど、こちらも結構盛り上がった様でした。そして12月恒例の忘年会。去年のような大きく盛り上がった忘年会にはなりませんでしたが、ゲーム楽しんでいただきながら、和気あいあいの雰囲気が出てたかななんて思っております。

この1年間、総務委員会では少ないメンバーになりなんとか事業を進めてまいりました。それもひとえに副委員長をはじめ、総務委員会のメンバーと、青年部のメンバーの皆様のおかげで協力のおかげだとたいへんありがたく思っております。

たいへんありがとうございました。

研修委員会

委員長 西松繁夫

今年度（平成7年度）の研修委員会の活動の主たる目的は、会員の意識の高揚でした。具体的には、全体例会の運営、会員オリエンテーションの実施等です。全体例会においては、各委員会に例会を担当していただき、それをサポート及びアドバイスという役割でしたが、各委員会の独自の例会プランに対し、お役に立てるように思います。又、運営に関して、各委員会の方が役割分担して、参加できなかったことに対しても、1年間終わってみたい結果として、意義深かったのではないかと思います。次にオリエンテーションの実施に関しては、例年になく内容として、(1)YEGの活動について、(2)会議と進め方について、(3)リーダーシップ研修を実施しました。初めての試みながら25名の参加を得て、とても盛会でした。次年度体制に向けての委員会構成の関係上、2月に予定していた第2回目は中止となりましたが、新しい形のオリエンテーションとしての第一歩は意義深かったのでは、と思われれます。次年度の担当委員会に、さらなる充実を託したいと思えます。次に委員会活動は、「交流と研鑽」をテーマに活動しました。出席者が少ない月もありましたが、全体として、副委員長さんをはじめ各委員の方々と共に、時には真剣に、時には和気あいあいできたこととは、とても意義があったと思います。1年間の総括として、副委員長さん、各委員会の方々が、忙しい仕事の合間をぬって、委員会活動に参加していただいたことに、心から感謝いたします。本当にお疲れ様でした。そして、今後のさらなるご活動をお祈り致します。

事業委員会

委員長 大西浩司

今年度、事業委員会でも、役割が大幅に濃いものとなり、無我夢中で取り組んできました。振り返ってみても一応は通り過ぎられたと思います。中でも、研修旅行の件では、事業委員会内で練りに練った末に決まったソウルでしたが、反対の声も多く、一時は断念しかけました。しかし、フジトラベルさんの協力もあり、旅行内容をさらに濃いものとした結果、役員の方々の賛成をいただき、無事終了することができました。また、今年度の新規事業の一つである次年度県会議員大会の準備では、まず他の青年部のやり方を学ぶため、事業委員から積極的に参加しました。この成果を来年度の県大会に生かせるよう今後も協力していきたいと思えます。また、松山まつりは、今年度から「い組」として独立としましたが、元々は事業委員会の担当ということもあり、全面的に協力しました。さすがに3日間を終えた時には、全員疲労の色は隠せませんでした。成功に終わったあとの汗は気持ちのいいものでした。その他色々事業を行ってまいりましたが、事業委員会の一番の成果は、事業の成功ではなく、事業を行うにつれ深まった交流だったように思えます。来年度は、事業委員の方々と別々の委員会に所属が決まり別れてはしまいますが、これにより、委員会の横のつながりがより一層強いのとなることを確信しております。

広報委員会

委員長 高橋伸定

1年を振り返って今年度の広報委員会の事業も残すところ会員名簿の発行だけとなりました。今回の遊心第12号をもちまして、今年度広報紙の発行は最後となりますが、無事発行出来た事は、商工会議所青年部の皆様様の御協力によるものであり感謝の念に堪えません。昨年4月に新メンバーにより広報活動を行って参りましたが、あつという間に1年が過ぎようとしております。

会員の皆様の御意見を充分にお伺いできないまま発行を行っておりますが次年度より、委員会名もPR委員会となり、それを契機により一層皆様と密着した遊悠を作っていきたいと思っております。乞う御期待！



アクションプログラム実行委員会より 21世紀ビジョンの提言

アクションプログラムⅠ

- 青年部、青年部会員、商会議所の情報インフラの整備
- 青年部会員間、商会議所ネットワーク網の構築
- 青年部データベースの確立と情報受発信

アクションプログラム実行委員会では、このような調査検討を重ねた結果をまとめ、松山商工会議所青年部に対し次のような提案を行った。

青年部会員からのニーズとして情報の受発信が第一にあげられており、これに対応すべく、今後早急に行われなければならないのは、次の点に示される。

アクションプログラムⅡ

- 会員個人における情報インフラの整備
- 会員へのパソコンの利用啓蒙
- 会員間のネットワーク網の構築
- 商青連ネットワークの構築
- データベースの確立

情報の受発信、管理コントロールが現在早急なテーマとしてあげられている。第一段階として、まず求められるのはインフラの整備であろう。これについては松山商工会議所と松山商工会議所青年部、さらに商工会議所青年部会員の情報インフラの整備があげられる。

第二にはネットワーク構築と共通データベースの確立があげられる。情報インフラの整備とこの活用構想こそが根幹をなすもので、どちらを欠くことになっても情報受発信、情報サポートを行う事はできない。

そして、これを行うためにはさらに次の手順を踏まねばならない。

これらを順次確立させていく事で、情報受発信、情報サポートの準備が行

チャリティイーゴルフ

当青年部が共催する、'96山田久志インビテーション愛媛チャリティイーゴルフ大会が1月16日、北条市のサンセットヒルズカントリークラブで開かれ、プロ野球の現役OB四十三人と一般の百二十九人が参加した。一般の中には松山商工会議所榎田会頭も参加した。当日は前夜の雨も上がりまずまずのコンディション。参加者も気持ちよくプレーを楽しんでいた。青年部のメンバーも、駐車場整理や受け付け、会場設営など競技運営に協力し無事大会を成功させた。なお、チャリティ協力金は、15日、松山市内のホテルで開かれた前夜祭でのオークション協力金など合わせ合計四百二十六千五百円が松

山、北条両市の社会福祉協議会に贈られた。



第一回愛媛県商工会議所青年部連合会親睦スポーツ大会スパーキックベースボール

3月3日(日)、伊予市の厚生年金休眼センターのグラウンドにおいて第一回愛媛県商工会議所青年部連合会親睦スポーツ大会としてスパーキックベースボール大会が行われた。

える。このような機器整備、利用者への啓蒙、共通データベースの確立を行う事で情報発信の準備段階が整える。そして、ここで初めて次の情報の受発信という第三の段階が行える。

第二段階として情報受発信、情報サポートの実施があげられる。これは次のように実施されるべきだろう。

現在、パソコンネットワークとしてインターネットが話題に上っているのは周知の通りである。

アクションプログラムⅢ

- インターネットの啓蒙、活用
- 青年部ホームページの開設、活用
- 青年部、会員企業、地域の情報受発信活用
- 地域間交流の活性化

インターネットは現在最もグローバル、迅速な通信手段、情報ツールとして認識されており、この活用こそが次世代企業活動を決定づけることとさえいわれている。このインターネットを情報発信の基盤として考え、松

山商工会議所青年部のホームページを設置する事ではじめて情報受発信が行える。このような行程を経て初めて情報受発信、情報サポートが行えるようになる。

アクションプログラムⅣ

- 新ネットワーク構築構想と情報受発信
- 新地域間連携軸構想の確立と拡大

新ネットワーク構築構想は、革新的な発想で始めて達成されるものではないだろうか。アクションプログラム実行委員会では、ここに新ネットワーク構築構想と情報受発信、新地域間連携軸構想の確立と拡大、そしてこれに基づき活性化された交流活動を提案しこの提言の結晶としたい。

動目的は青年部の活性化、地域間交流の活性化、企業活動の活性化であり、情報化の波におはれる事ではない。このことを常に念頭において行動する事が青年部のビジョン達成の基本といえる。情報の波をいかにコントロールするかが、21世紀ビジョンの基本であり、インターネットなどをツールとした情報網の整備こそが肝要であり、これを使用した活動こそが真の松山商工会議所青年部の未来ビジョンといえる。

現在も地域連携構想は話題に上り、新たな地域間交流、地域構成がさげばれている。これらを本当に実現するポイントには情報の受発信の必然性であり、それらの情報を見極める処理能力、さらにそれをふまえた経済交流であろう。単なる訪問、単なる研修活動では地域交流の新たな拡大は望めない。

新たな地域間構想は、新たなネットワークと新たなツール、革新的な発想で始めて達成されるものではないだろうか。

（こ）（ん）（に）（ち）（は）（ソ）（ウ）（ル）

アンニョン・ハシムニカ SEONL

2月25日、午前10時30分、松山空港には、大亀会長をはじめ、参加者全員が珍しく時間前に到着。

全員の顔を眺めながら、事務局としてはホッとひと安心。出発までの間、みんなの関心は「ソウルはどのくらい寒いんやろ」

防寒対策バッチリの我がYEGメンバーが韓国金浦空港に降り立ったのは、午後2時すぎ。出国手続きを終え、外に出た途端「松山と変わらんぞ、寒ないが」の声々。

出迎えるバスに乗りこみ、熱心なガイドさんの声を杖に、ついウトウト。到着したのは、王宮跡の「景福宮」、色彩豊かな建物を前にハイポーズ！

その後、宿泊先のホテルを経由し、メモを片手にショッピング。そして韓国最初の夜は「骨付カルビ」で腹ごしらえ。ホテルで二次会となり、韓国最初の夜は各人各様のまま過ぎていった。

翌日の出発時刻は午前7時。ソウルは道路事情が悪く、混雑をさけるためとのこと、寝はげ眼や疲れた顔もチラホラ。

バスに揺られながら目指すは、韓国を代表する三星電子（サムソン）の原工場。爽やかな笑顔とともに歓待さ

れ、まずは応接室でビデオ研修。続いて、展示場やカラーテレビの製造ラインを見学。

韓国を代表する企業のスケールにやや圧倒されながら、午後はお世話になった大韓商工会議所へ挨拶。こちらにも立派な建物に関心しきり。日本語ペラペラの国際協力部でしばし歓談、Uターンでロッテワールドへ。

ドーム式の遊園地は人が一杯、免税店は日本人が一杯。その夜は韓国料理に舌鼓。なかにはあまりの辛さにギブアップするメンバーも。こうして2日目の夜も更けていった。

それぞれの思いを胸に、一路松山へ。税関手続きを終え、今回の韓国研修旅行もいよいよファイナレ。万感を胸に、無事終了。皆さん大変お疲れ様でした…。



洋菓子にはいろんなフルーツを使います。そこで今回はフルーツの食品学!!!

いちご

南アメリカ原産のいちごは、日本で多く栽培され、生クリーム(牛乳)とのコンビは人気いちばん。洋菓子には欠かせません。ビタミンCが豊富で果物類の中でもトップクラス。妊娠中の方や子供におすすすめ。傷みやすいのでなるべく早くお召し上がりください。

キウイフルーツ

飛べない鳥キウイでお馴染みニュージーランド原産で、今は県内でも多く栽培しているのでもずらしくもないのですが、ビタミンCが豊富で



からだ 身体にいい話

〈3〉 プランタン 石井 津志

1個で1日分の必要量がとれます。味があまり強くないので料理にも使えます。豚肉に果汁をかけておくとやわらかく、香りが良くなります。

ウ糖に糖化します。高カロリーで消化が良いのでテニスや、自転車レース、トライアスロンなど、持久力が必要なときのエネルギー補給に一本! 皮でこけないように。

愛媛(特に中山町)の栗出荷量は全国2位。昔から田舎でよく見かけるので、松山ではあまり喜ばれませんが、洋菓子では欠かせない素材です。モンブランといえはこのお菓子屋にもある定番です。栗はでんぷん質が多く、ビタミンB1と蛋白質が豊富です。むくみの予防に効果があるらしい。

リンゴ、メロン、ミカン、プラム、パイナップル、マンゴー、アボガド、他にもいろいろありますが、果物は全体に水分と糖分が多いので食べ過ぎも良くありません。

さくらんぼ

いわゆる喫茶店では缶詰レッドチエ

最後に、お菓子(特に洋菓子)はちよつとカロリー高めですが、やさしい気分させる栄養素を多く含んでいます。疲れた体と心を癒したいとき、効果があららしいのでお試ください。(PR)

新入会員です

- ① 会社名
- ② 会社後援名
- ③ 会社事業内容
- ④ 会社住所
- ⑤ 会社電話番号
- ⑥ 生年月日
- ⑦ 家族
- ⑧ 趣味

- | | | | | |
|--|---|---|---|---|
| <p>友近 武志</p> <p>株式会社佐藤電機工業株式会社
店長
松山市東原3丁目8-38
9233-80007
昭和43年3月13日
独身
自転車</p> | <p>中尾 卓也</p> <p>株式会社カワフードサービス
営業部長
食品製造
松山市西門159-1
9521-1156
昭和37年7月19日
妻
益敷</p> | <p>岡林 信介</p> <p>ギフトポイントA
代表者
贈答品販売
松山市水代町8-17
9333-73394
昭和31年8月11日
妻
子供2人(女2人)
ゴルフ、つり</p> | <p>岩岸 博一</p> <p>株式会社アネスト
室長
テクノロジーシステム販売
松山南中町2丁目9-8
9233-1149
昭和42年5月1日
独身
スポーツ全般</p> | <p>枇杷 秀樹</p> <p>星企画株式会社
課長
広告代理業
松山南中町2丁目15-1
9341-6088
昭和35年9月8日
妻
子供1人(男1人)
草野球、スポーツ観戦</p> |
|--|---|---|---|---|

- 福岡 晋也**
- 株式会社コミュニケーションズ
映像製作に關わる全て放
送番組の企画・制作 他
松山市竹屋町1-4-5
4
ハイツ松山ビル2F
9211-0112
昭和34年3月12日
妻
子供1人(男1人)
音楽鑑賞、舞踊鑑賞

- 大内 健二**
- 株式会社フジ
総合企画部経費企画課長
小売業
松山市富西一丁目2-1
9222-18115
昭和29年10月1日
妻
子供2人(男2人)
ゴルフ、アウトドアスポーツ

事務局だより

○4月19日に平成8年度商工会議所青年部の総会を開催予定ですので皆様ぜひ参加してください。

編集後記

○春は別れと出会いの季節、息子は仕事で松山を離れていて、娘は大学進学で旅立ちます。ちよつとさみしいものです。
小林

○1年間ありがとうございました。(P)

○春なのにお別れですね
春なのに涙がこぼれます。中井
○皆様来年度こそは原稿締め切り守りましようね。
新入会員(?)K